

楓之典君乳母草子

～日日は猫日～ 其ノ拾式

猫の妙術

中條 恵子 陸自85

いづれの御店おんたなにか、亜米利加短毛アメリカショートヘア、蘇格蘭折耳スコティッシュ・フォールドあまたさぶらひ給ひける中に、いとやんごとなき際にはあらぬが、すぐれてときめき給ふありけり。

先代チビ太よはひが齡一歳にて急逝して三月余り、幼き楓之典君に御目文字し、わが家にお連れしてから拾と老年が経ちました。魂は永遠の五歳児とはいえ、年が明ければ楓之典君も拾式歳。ヒトならば陸拾肆歳のお誕生日を迎えます。

此度は楓之典君も直面する猫様の老いについて綴りましょう。

●猫の老い

平安の世、都の人々を魅了し榮華を極めた光の君も、齢を重ねて雲隠れあそばしました。愛しの猫様にも、老いや別れは必ずやって参ります。猫飼ひ衆も僕も猫様の老いに備え、お別れの日まで心穏やかにお暮らし

いただけるようにご奉仕せねばなりませんぬ。

○老猫との暮らし

近年では部屋住まひが主流となり、医療や食餌の充実などもあつて、猫様の寿命は延び、老齡期も長くなっています。老化に伴う身体の変化や徴しるしを見逃さず、生活環境を見直すとともに必要なお世話をいたします。

★老化の表れ

猫様の老齡期は7歳前後から。10（12歳（ヒト換算・55～60歳））には本格的な老化が始まります。身体・心・行動の変化は老化と密接につながっています。毛艶が衰えて抜け毛が増える、白髪が目立ってくる、足腰が細くなるなど、体つきに表れるほか、寝ている時間が増え、段差で躓く、高い所に飛び上がれなくなるなど、行動の変化と運動量の低下も顕らかになってきます。犬様ほど顕著ではありませんが、視力や聴力が衰えて反応も鈍ってまいります。目が白く濁ってくる症状が現れる場合もございます。

★老猫との接し方

老化の兆しが見られるようになった猫様のお世話しんばは、壮年期以前とは異なります。食餌を老齡向けのもの

に替え、普段の様子はもちろん、触れ合いや御遊びの折にも、身体の変化や動きに心置きます。環境の変化などの過度な刺激や緊張は、猫飼いや僕らの気働きで避けたいものです。通院が猫様の負担にならないようでしたら、健康診断の頻度を半年に一度以上に増やすのはあらまほしきこと。

★環境づくり

猫様がお暮らしの室内環境を見直し、高い所へ登るための踏み台を増やす、厠は入りやすいように入り口を浅くしたり斜面をつける、寝床は柔らかい素材で低い場所にも設けるなど、お身体への負担を少なくする工夫をいたします。また、思わぬ事故からお守りするため、床に敷物などを敷いて滑りにくく、爪が掛かるような絨毯は取り替えます。階段や台所など危険な場所の入り口に柵を設け、高い猫柱は低いものにするなど、造作・調度に手を加えます

しくなければ柔軟にするなど、ご様子に応じて対処いたします。小檻の入り口以外を布などで覆い、普段から安んじてお休みにになれるように開放しておくのも良きことにございます。

★老猫の病

老齢期の猫様には、腎不全や尿路疾患に代表される泌尿器系の異常に加え、リンパ腫などの悪性腫瘍や糖尿病、歯周病、認知症といった病気が目立つほか、運動量の低下が変形性関節症によることもあります。老いの兆候と病気の兆候は似ています。病気の兆候や症状を十分に把握して理解を深め、病の兆しを見出した時には速やかに獣医師に相談せねばなりません。早期発見・早期治療のためにも、定期的な健康診断が効果的であるの言うまでもございません。

★介護

老いた猫様の介護は猫飼いや僕らにとつて重き務めですが、一人で抱え込まず、家族と協力したり、掛け付けの獣医師に相談するなどして、無理なく続けられるように向き合うことが肝要です。

終末期医療は、末期患者の延命を目的とせず、苦痛をなくして生活の

質を向上させる医療のことです。獣医療は日々進化し、終末期にどこまでどのような医療を施すかを考えておく時代となっています。掛け付け医とよく話し合い、猫様がその方らしく残りの時を過ごせるように考え、てさしあげましょう。

○旅立ちと別れ

永年一緒に暮らした愛しい猫様との別れはまことに悲しくて辛いものですが、残念ながら避け難き道にございます。少しづつ心の準備をしておくとともに、悔いなきように、猫様との時間を大切に日々を過ごすことが何よりも大切でございます。

★看取り

最期の時間をどこでお迎えいただくか：病院、あるいは共に過ごした思ひ出深きわが家、はたまた老猫施設などの選択肢があり、いづれが正しいというものではございません。獣医師とも相談の上で事前に方針を固めておきましょう。猫様が少しでも心安らかに虹の橋をお渡りになれるよう、その瞬間まで声をお掛けし、撫でたりしてさしあげましょう。

★お用い

近年では愛玩動物専門の葬儀社や霊園も増えてきています。依頼が難

しい場合は、遺骸の引き取りを行う自治体の清掃局などに相談いたします。なお、自邸の敷地外や公共の場所への自己判断による土葬は、法律や条例で禁じられています。

★ご供養

愛玩動物専門の葬儀社による火葬の場合、立会型や一任型、あるいは合同葬や個別葬などの種類があり、それぞれ費用も異なります。火葬後の遺骨は、霊園への納骨あるいは自然散骨、手元供養などの選択肢がございます。どのようにお葬りするか、家族と相談して心づもりをしておきましょう。

また、今のご時勢では悪質な業者もおりますので、愛玩動物専門の葬儀社を選択する場合には、事前に評判などの情報を収集して複数の業者を比較検討するなどの対策を講じましょう。

★愛玩動物喪失反応と向き合う

最愛の猫様を失ったことを哀しむのは、決して特別なことではありませぬ。嘆きのあまり、しばらくは何も手につかないこともありましよう。己を責めず、気持ちを分かち合える人と共に哀しむのも、愛玩動物喪失反応対策の一つです。哀しみは

抱え込まず、洗い流しましょう。そして、うれしき思ひ出を振り返り、出会えた幸せに感謝いたしましょう。少し時は要しても、必ず前向きになれる日がやっつて参ります。先代チビ太が嚴冬の早朝に急逝した哀しみを乗り越えて楓之典君をお迎えした乳母が申すのですから、嘘はございません。

徒然なるまゝに、書物を傍らに由なし事を二年綴ふたとせれば、あやうこそ物狂ほしけれ：思ひ立ちて、猫神様詣でに出でまする。

○ 楓之典君のつぶやき

——ふうには昨日も明日も、過去も未来もない也。高僧曰く、「即今当処自己」——